

平成30年度 第42回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

女ホ

女子3回戦

会場 キッコーマンアリーナ

チーム名	総得点		総得点	チーム名	
不来方	19	10	—	6	今治東
		9	—	11	
		—			
		—			
		—			
		7mTC			

開催地幕張総合を下した不来方と桜花学園を下した今治東の一戦。

前半は不来方東のポストシュートでスタート。その直後、東が負傷退場するアクシデントもあり、その間で今治東が樋口のみドルシュートなどで同点に追いつく。すぐさま不来方キャプテンの阿部のカットインで今治東に主導権を握らせない。その後も一進一退の攻防を繰り返したが、不来方がゴールキーパー佐藤の攻守からリズムを掴み、残り5分で一気に突き放し、前半を5点差で折り返した。後半開始から今治東は攻撃的なディフェンスシステムでじわじわと点差を縮めていった。残り1分30秒で一点差まで詰め寄ったが、加島が2分間退場になり、不来方が最後に突き放し、3点差で試合終了となった。今治東は速攻ミスが最後まで響き、不来方はキャプテン阿部の随所での活躍が光った。

31年 3月 26日

記載者氏名 堀口 俊介

平成30年度 第42回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

女へ

女子3回戦

会場 キッコーマンアリーナ

チーム名	総得点				総得点	チーム名	
水海道第二	24	[11	—	5]	横浜平沼
			13	—	9		
			—				
			—				
			—				
			7mTC				

水海道第二と横浜平沼の関東対決。前半4分水海道第二は2番田村の速攻で先制。その後は両チーム相手のディフェンスを崩すことができない。22分過ぎから横浜平沼は退場が続く。横浜平沼1番GK石原の好セーブが続いたが、水海道第二は6番岡本のサイドシュートなどで3連続得点。11対5とリードを広げ、前半を終える。後半も水海道第二の得点は止まらず6連続得点で17対5と横浜平沼を大きく引き離す。横浜平沼はポストプレーや5番笠井のディスタンスシュートで追いかけるが点差は詰まらず、24対14で水海道第二が勝利した。

31年 3月 26日

記載者氏名 植村 彰太

平成30年度 第42回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

女ト

女子3回戦

会場 キッコーマンアリーナ

チーム名	総得点		総得点	チーム名																		
四日市商業	18	<table border="1"> <tr> <td>7</td> <td>—</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>—</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="3">7mTC</td> </tr> </table>	7	—	11	11	—	15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7mTC			26	宣真
7	—	11																				
11	—	15																				
—	—	—																				
—	—	—																				
—	—	—																				
7mTC																						

前半5分、宣真の9番吉本里緒がミドルシュートを決め先制すると、四日市商業も7分に4番南川満帆がミドルシュートを決める。両チームともに GK を中心とする統率のとれたディフェンスで失点を防ぐ。残り10分、宣真に連続得点され3点差となった所で、四日市商業がタイムアウトを取る。23分には宣真に退場者が出るが、点差は縮まらず宣真の4点リードで前半を折り返した。後半は四日市商業に退場者が出たことをきっかけに宣真ペースに。10分に9点差となり四日市商業がタイムアウトを取るが、流れを変えることができず、26-18で宣真が勝利した。

31年 3月 26日

記載者氏名 堀内 元貴

平成30年度 第42回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

女子

女子3回戦

会場 キッコーマンアリーナ

チーム名	総得点				総得点	チーム名	
愛知商業	16	[8	—	16]	明光学園
			8	—	14		
			—				
			—				
			—				
			7mTC				

九州予選を1位で通過した明光学園と、愛知県枠で出場した愛知商業がともに初戦を突破して顔を合わせた3回戦。序盤は愛知商業の3番辻が立て続けにディスタンスシュートを決めれば、明光学園もクイックスタートから9番中園らが得点し、10分過ぎまで5-5と互角の戦いが続く。しかし、明光のアグレッシブなディフェンスが機能しはじめると、そこからの速攻で6番白石らが得点を重ね、前半は12-5の明光リードで折り返す。

後半、明光は代わりに入ったメンバーが実力を発揮し、3番上嶋のサイドシュートや2番岡崎の巧みなランニングシュートで着実に得点を重ねる。対する愛知商業も8番與儀のダイナミックなステップシュートや7番城のポストシュートなどで追いつがるが、全員ハンドで笑顔のプレーを続けた明光が上回り、30-16で明光が勝利した。

31年 3月 26日

記載者氏名 本田 典之